

【研修会報告】

ユニフィケーション学習会「療養の場の移行について～退院支援に求められる病院看護師の役割～」を実施しました

日時：2024年9月27日(金)17時～18時

内容：退院後も継続して治療が必要な患者さんや、ご自宅で看取りを希望される患者さんが多くおられます。そして、入院患者さんの高齢化も進みADLの低下などから新たに在宅サービスが必要な患者さんが増えています。

「家に帰りたい」という患者さん、ご家族の思いを大切に、病院看護師として退院支援がスムーズにいく働きかけを行っていきたいという思いがあり開催しました。

<講義>・療養の場の移行に伴う支援

- ・療養の場の再考の必要性とその調整・支援
- ・継続看護の考え方
- ・療養の場の移行に伴う看護師の役割

【意見・感想】

島根県立大学の加藤典子先生と、島根県立中央病院 9 階東病棟看護師が企画、実施し、当日は、病棟看護師、地域連携室看護師の計 15 名が参加しました。

研修の中で最も印象に残ったことは、その人の思いを引き出し意思決定の支援をすることです。退院後の生活の場だけではなく、患者さん、ご家族の思いを軸に希望と現実のすり合わせを行い、個別のニーズに合わせた支援を行っていくことの必要性を感じました。患者さんやご家族との何気ない会話の中からも、そのような気落ちを読み取り、意図的に会話をしていくことを入院早期から行い、一人ひとりの思いを尊重し、最善の医療やケア方法を多職種と共に支えていきたいと思えます。

講義の様子

